

令和3年10月11日
四国電力株式会社

伊方発電所3号機 蓄圧タンクサンプリング隔離弁の不具合について（続報）

第15回定期検査中の伊方発電所3号機（定格電気出力89万キロワット）において、蓄圧タンク3A内の水を分析するため、原子炉格納容器内（管理区域内）にある蓄圧タンク3Aサンプリング隔離弁を開いて同タンク内の水を採取した後、当該弁を閉じましたが、水が完全に止まらないことを確認しました。

このため、保修員により当該弁のシート面調整等を実施しましたが、改善が見られなかったことから、10月8日8時55分、分解点検を実施することとしました。

サンプリングラインからの水は、本事象確認後、下流の弁を閉じて停止しています。また、同ラインから出た水はすべて回収しており、系統外への漏えいはありませんでした。

なお、本事象による環境への放射能の影響はありませんでした。

（10月8日お知らせ済み）

その後、当該弁の分解点検および部品取替えを実施したうえで、同ラインに通水したところ、弁の閉止機能に問題がないことを確認したため、本日、通常状態に復帰しました。

引き続き詳細を調査します。

（別紙）伊方発電所3号機 蓄圧タンクサンプリング系統概略図

（参考）

○蓄圧タンク

1次冷却材喪失事故時に、核分裂反応を抑制するほう酸水を自動的に炉心注入するため、通常時、ほう酸水および加圧窒素が満たされているタンク。原子炉内の冷却水が漏出して1次冷却系統の圧力が低くなると、タンクから炉内にほう酸水が注水される。

以 上

伊方発電所 3号機 蓄圧タンクサンプリング系統概略図

